

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4393100021		
法人名	社会福祉法人 御薬園		
事業所名	グループホーム 桜の里		
所在地	熊本県球磨郡水上村岩野2658-1		
自己評価作成日	平成21年6月30日	評価結果市町村報告日	平成21年11月16日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://search.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/kaigosip/Top.do
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 九州評価機構
所在地	熊本市上通町3-15 ステラ上通ビル4F
訪問調査日	平成21年10月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・地域性を生かし、自宅で野菜を作っていた様に菜園にて野菜を作って頂き、その下ごしらえや調理などを利用者と一緒にやり、自宅でされていたであろうことを思い出してもらって自宅での生活に近づけるようなお世話が心がけています。また、出来ること行ってもらい本人の達成感や満足感満たすようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平屋建てのホームは、秋の日差しがホール全体に優しく差し込んでいるなか、入居者と職員は日々の暮らしを支え合い、協力し合いながらすごしている様子が窺えた。法人の本体施設と隣接しているため、協力体制がスムーズに出来ており、研修や委員会活動・広報誌など本体施設が核となって執り行われている。職員は、ケアや仕事に対して真摯に向き合い、職員間での連携が良くできているように見受けられた。それ故にややもすると、職員のペースに添った支援になることが懸念されるので、常に入居者の意見や思いをケアに反映できるように心がけて支援されることを望みたい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	時間に追われることなく、入居者のペースに合わせたサービスを提供している。	管理者は職員や家族・入居者に対しても理念を共有する為の取組みを常に心がけている。	ホームに関係ある一人ひとりに理念を知って貰うことで認知症や認知症ケアの理解を促し実践に繋げて行かれることを望みます。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事や祭り等へは積極的に参加するようにしており、顔なじみの関係をつくりつつある。	小学校の運動会や地域の行事には入居者と共に参加している。公共の施設が近隣にあり恵まれた環境である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	出来ていない。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員の意見を受け、改善すべき点や取り入れるべき点は、積極的に取り入れる様になっている。	地域包括センターの職員・役場の職員・地域住民・家族代表等がメンバーで定期的に行われており、現在のサービス提供状況、入所状況などの報告がなされている。	毎回の定期議題の他にその時節にふさわしい内容を付加できるような会議を期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	連絡が密に取れているとは、言えない。	運営推進会議で意思疎通を諮っている。随時来訪などは、今のところ在っていない。	法人を介しての連携は取れているものと思われるが、ホーム独自で行政との協力関係が築けるよう積極的な姿勢も望まれます。
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠に関しては、職員一人での対応時にやもおえない場合を除き、行っていない。	職員は法人の研修を定期的に通っている。職員の配置や入浴支援時等玄関の施錠をやる場合もある。	認知症ケアについては、ホーム独自の個別の研修を計画・実施されることを期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同法人での研修等にて学ぶ機会を設け、虐待等がないように職員間で注意喚起を行っている。		

グループホーム桜の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	上記同様に同法人での研修へ参加し、学ぶようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	専門用語は避け、ご家族が納得されるまで説明を行うようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族来園時や電話連絡を行った際には、意見や要望等がないか確認をするようにしている。	家族の面会時や電話連絡の折に意見や要望などが出やすい雰囲気作りを心がけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全員がそろうことは、難しいが職員間での意見交換ができるような体制をとっている。	出勤している職員間では、ミーティングを通して意見交換を行っているが、職員全員が意見交換する機会が今のところ少ないためケアの共有は創意工夫によって出来ているものの、提案や意見を話し合う機会が十分でない。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来ていない。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等へは、管理者より参加を申し出し、各個人のスキルアップに心がけている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	人員数の関係で年に数回程しか交流等は、図れていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	認知症が重度な方が多い為、要望等の確認は困難だが信頼関係を気付く為、入居者と過ごす時間を大事にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時は、もちろんだが入所後しばらくは、状態報告を行い、その際に要望等を尋ねる様にしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	契約時、入所直後は、特に必要と思われるサービスを本人、家族に確認しながら行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	菜園での野菜作り等、入居者の知識を聞きながら行い、一緒に収穫を喜んだり、会話の時間を増やし、冗談を言い合ったりしながら、家族として接するようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など利用者も含めて談笑したり、本人の事について些細なことでも時間の許す限り会話をするようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方との交流は、併設のデイサービスに知人が来られた時の面会や地域の行事や祭りに積極的に参加するようにしている。また、ドライブ等にて本人のなじみの場所へ出かけたりもしている。	法人本体のデイサービスを利用している人が訪問に来たり、ホームから会いに行くなどして交流を行っている。また、地域の行事への参加や馴染みの場所にドライブに行くなどの支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	関係の把握は、出来ており、孤立等はないが支え合えるような関係が出来ているかと言うとまだまだ支援不足。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方でも病院等への訪問を行ったり、状態の確認や本人・家族からの相談等には、入居中と変わらぬ対応に心がけている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時にはもちろん確認を行っているが入所後も不定期ではあるが希望や意見を聞くようにしている。	日常生活の中から言葉や表情、しぐさなどで一人ひとりの思いや意向を把握するように努めている。また、家族の訪問時など入居者の生活歴を聞くようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時にももちろん確認を行っているが入所後もサービス利用等で不明な点あればその都度、関係各所へ問い合わせを行う世にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者の現状把握は出来ている。この入居者の能力に応じ、日常生活の中で役割を持って頂くようにしている。(菜園の世話、洗濯物干し・たたみ、食器拭き、テーブル拭き等)		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状として一部の方を除き、認知症重度な方が多い為、本人の意見や意思の確認が出来ていない部分があるが、その場合家族への確認や本人の希望しているであろう事を推測し、介護計画を作成している。	本人や本人の意思が難しい場合は家族に希望を聞きながら、管理者・計画作成担当者で介護計画を立てその後職員に諮っている。	アセスメントやモニタリングは入居者の現状に即した介護計画を立てるためには大切なものであると思われます。職員それぞれの意見交換が出来るような環境整備に期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には、記入を行っているが気づきや工夫の部分が少ない為、介護計画の見直しには生かし切れていない部分が多い。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	可能な限りは、行っている。		

グループホーム桜の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握は、出来ているが活用できていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	系列病院がかかりつけの方が多いため、職員付き添いのもと、ドクターへ詳細な情報提供を行っている。また、家族付添で系列外の病院へ行かれる際は、状況提供表を渡したり、事前に電話にて情報提供を行うようにしている。	入居者の多くが系列病院のかかりつけのため、普段の受診は職員が同行している。専門の治療を要する時や遠隔地の受診は家族等が付き添い支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週一回の訪問看護時には、入居者の情報を伝え情報の共有に努めている。また、その中で受診の必要性等も検討するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、病院を訪問し、経過の確認や情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に看取りに対する家族の意識確認を行い実際に重度化した場合は、あらかじめ今後についての意思確認を行うようにしている。	家族には契約時に重度化や看取りに対しての意識確認を行い、重度化した場合には再度話し合いを行うようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	同法人での研修や消防署での救命講習等への参加を行っている。また、緊急時のマニュアル等も作成し、急変時や事故時に適切な対応ができる様にしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の避難場所の把握や避難訓練を行い緊急時に備えている。	ホーム主体の訓練は、本体施設の協力があり入居者の誘導・連絡体制等の確認をしている。避難訓練は、夜間想定でも行っており、地域の避難場所も心得ている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として敬意をはらった対応に心がけている。	職員は、言葉かけや態度などプライバシーや誇りを傷つけない対応に心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	認知症が重度な方が多い為、本人の思いや希望の把握が難しい為、職員が推測し、対応するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人の一日の生活スタイルに出来るだけ沿うようにしているが、食事だけは、クックチルを採用している関係上、調理時間や保存時間に制限がある為、時間を決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	化粧品やくし等は、本人が以前から使用されていたものを持ち込んで頂き、散髪等に関しては、併設の特養に月2回理美容ボランティアがある為、本人や家族の希望がある場合は、その際、散髪して頂いている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	準備に関しては、クックチルの為、温度管理等があり行っていないが片付けや食器拭き等は出来る範囲で行って頂いている。また、菜園の野菜を調理し、一品加える等作り食べる楽しみをていきょうしている。	食卓の台ふきや茶碗拭きなど本人の出来ることを一緒に行っている。調理はクックチルのため職員が行っている。毎日のおやつ作りは、職員と入居者が一緒に話し合い楽しくこしらえて食している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事に関しては、今のところみなさんよく食べられているが水分摂取の悪い方に関しては、水分ゼリー等の提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行い、手直し程度から全介助までそれぞれの方に合った対応をしている。		

グループホーム桜の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンをつかめている方もいるが全くつかめない方もおり、今のところ紙パンツやパットの使用の減少は出来ていない。	その人の様子や仕草から排泄支援を行っている。入居者によっては排泄パターンを十分に把握出来ていない方もいるものの職員同士協力しあって排泄支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取を促し、出来るだけ歩行をして頂くようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴拒否の方がおられ、曜日は、決めてあるが希望があれば基本的に曜日関係なく入浴して頂いている。また、日により違う入浴剤を使用する等、色や香りも楽しんで頂いている。	基本的には曜日は決めていたが、その日の状態によっては、入居者の入浴拒否があったり、また希望があったりする事がありその日によって柔軟な対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、下肢の浮腫強い方等は、昼食後に臥床を取り入れたりしている。また、夜間も夕食後それぞれの就寝時間に合わせ、居室誘導をおこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の変更時には、普段以上に状態の記録に努め、各職員が必ず記録に目を通し、状態把握に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コーヒーが好きな方には、コーヒーを野菜作りをされていた方には、一緒に収穫を頼んだり、洗濯物たたみや食器拭き等個々の好みや能力に合ったものを提供している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	入居者の希望を取り入れ、おやつや弁当を持ってドライブに出かけたりしている。	買い物や散歩など日常的に外出することが少ないため日曜日は出来るだけドライブで外出し気分転換をしている。	

グループホーム桜の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	持っておられる方もおられるのだが管理ができなくなってきており、残金等の確認は職員にて行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一名ではあるが毎日、遠方におられる娘さんよりはがきが届く為、毎回ではないが近況を写真や文字にて伝える様にしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者と一緒に季節の飾りを作り飾り付けを行ったり、照明も光の柔らかいものを使用している。	対面式のキッチンには常に入居者と会話をしたり気配を感じることが出来ている。畳のコーナーはコタツも置いてあり、ごろっと寝ころんだり、洗濯物タタミなどに重宝している。	職員が入居者の傍に寄り添って楽しく会話出来る時間を工夫検討されることを望みます。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳スペースがあり、ゆったり過ごしたい方は、そちらを使って頂くようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に自宅等で使用されていたタンスや布団等を持って来て頂き、入所したという形ではなく、引っ越してきたという感覚で居室を使って頂くようにしている。	開設してまだ日も浅いが、入居者のお気に入りの物や馴染みの物など持ち込みも増えている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	環境整備を行い建物内は、出来るだけ歩行して移動して頂いている。また、洗濯物たたみや食器拭き等出来ることは、手伝って頂くようにしている。		

目標達成計画

作成日: 平成 21年 11月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	職員数が少ない為、時間に追われ、一人一人の入居者とゆっくり会話する時間が取れていない。	一日数十分でも入居者とゆっくり会話する時間を作る。	・業務に優先順位を付け、業務の効率化を図り空いた時間には、入居者との会話するよう心がける。また、現在、比較的時間に余裕のある日曜日には、入居者の希望も取り入れ、レクリエーションやドライブ等ゆっくり過ごせる時間を設ける。	6ヶ月
2	26	介護計画作成に際し、アセスメントやモニタリング時に全スタッフが集まることがなく、職員同士の直接的な意見交換や検討が出来ず、数人で検討した内容に添って介護計画を作成している。	職員全員が直接意見交換できるような体制の確立。	・勤務の調整を行い、調整困難な場合は、出来るだけ、出勤数の多い日時に合わせ実施するようにする。また、どうしても参加できない者は、管理者が計画作成担当者へ意見を伝え、確実に検討時に全員の意見が集まるようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。